

## 【1】-1. システム構成

### 1. システム構成概要

システム構成には以下のような例があります。

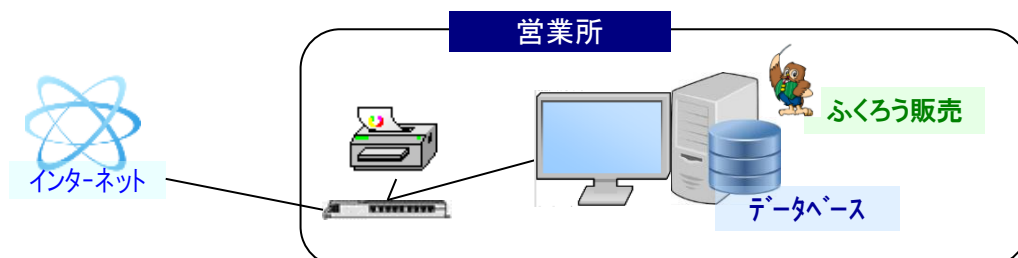
※ 下記のSQLServerとは、データベース管理ソフトです。ふくろう販売のデータベースが稼働します。

#### ◆スタンドアロン（オンプレミス）

1構内の事業所（本社）の端末1台のみの構成となります。

クライアントのみでシステムを稼働することができます。

インストールされるソフトは「ふくろう販売管理」及び「データベース(SQLServerExpress)」です。

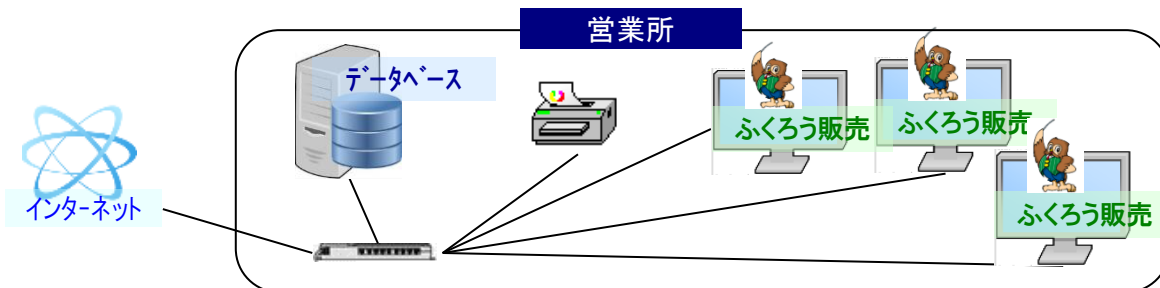


#### ◆LAN（オンプレミス）

1構内に複数端末の構成となります

基本的にはサーバを1台設置し、サーバにデータベースを導入します。

インストールされるソフトは、サーバには「データベース(SQLServer)」、クライアントには「ふくろう販売管理」です。



#### ◆WAN（オンプレミス）

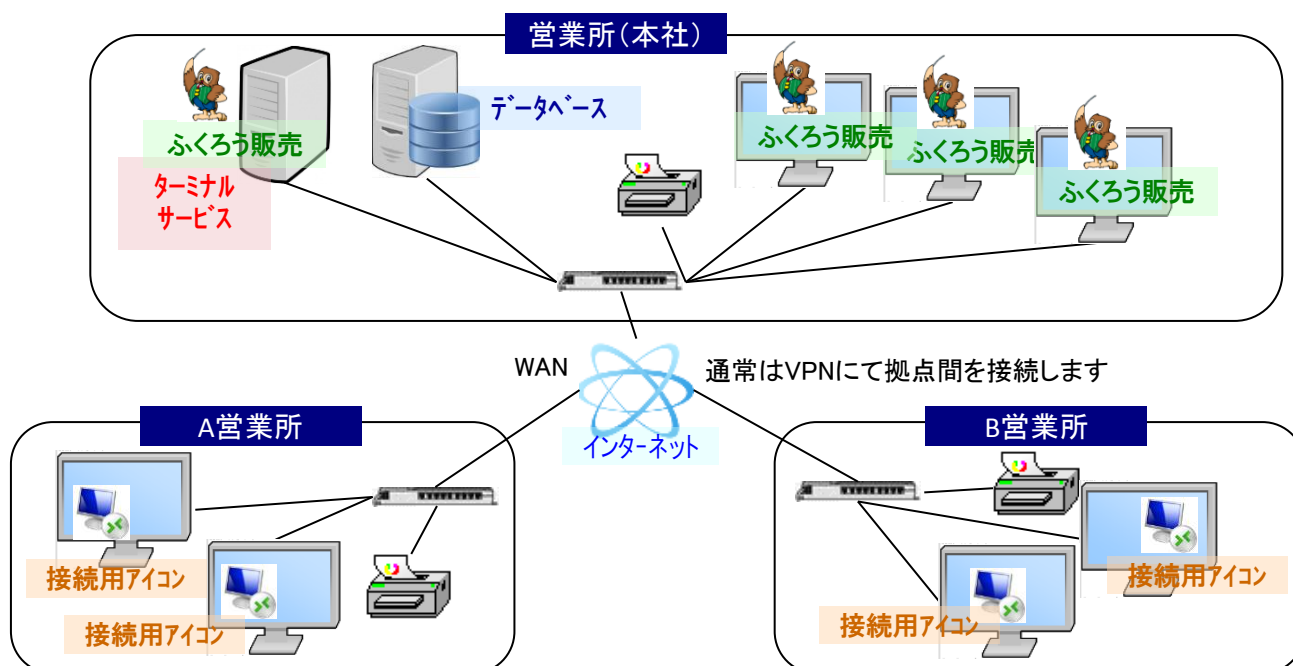
各拠点クライアントから、本社サーバにログオンしてふくろう販売を使用します。

基本的にはサーバを2台設置します。

1台には「SQLServer」、もう1台には「ターミナルサービス」と「ふくろう販売管理」を導入します。

サーバと同じ構内の端末には「ふくろう販売管理」をインストールします。

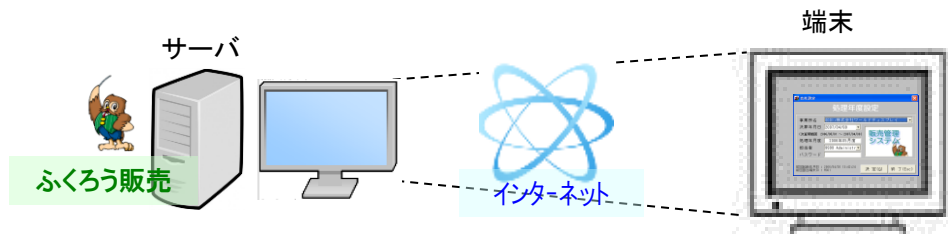
別拠点の端末にはターミナルサービス接続用のアイコンを配布します。



別拠点のクライアントがふくろう販売管理を使用するには、ターミナルサービス(リモートデスクトップ)という技術を利用します。

この技術を利用すると、サーバの画面をあたかも自端末の画面のように表示することができます。実際の処理はサーバ上で全て行われていますので、ネットワーク上を行き来するデータは、マウスの動きや画面表示、印刷データのみで、ネットワークを経由するデータ量が少なくなることから通常のLANに比べ、ネットワークの負荷を抑えることができます。

その代わりにサーバに負荷が集中しますので、クライアント数増加に伴いサーバの機能も向上させていく必要があります。



クライアントでソフトを稼働しているように見えますが、実際はサーバの画面をクライアント上に表示しています。

#### ◆ハイブリッド

Microsoftのデータセンターにあるデータベースを使用します。  
自社内にサーバを設置する必要もなく、拠点間をVPNで接続する必要もありません。

インターネット接続できる環境であれば基本的にMicrosoftデータセンターにあるデータベースに接続できます。接続するためにはIDとパスワードを知っている必要があり、ネットワークを流れる情報は暗号化されていますので、セキュリティ上の心配はありません。

各拠点の端末に「ふくろう販売管理」をインストールします。

